研推だより

１５．５．２６

◎これまでの研推で確認したこと

- 研究主題　　つかむ みつめる　高める
  ～よりよく生きようとする子をめざした道徳授業～

- 研究仮説　　②授業や生活の中に地域や地域の人たちとの関わりを持たせ、
  生活を見つめる授業の工夫をしていけば…
  自分

- 今年度の研究の力点
  ○ 生き生き学習を生かした実践力の育成
  や体験学習

- 年間計画
  ６月　２年　４年　（主事研）
  １０月　１年　３年　（全校研）
  １１月　５年　６年　（主事研）

- 地域を生かした教育活動の実践
  学校と保護者や地域住民との新しいかかわりの構築
  ↓
  学校支援ボランティアの協力を生かした指導の充実

- 今年の研究について
  研究①をメインに考えながら…
  ・「語る」ということが南の子は十分ではないのではないか
  ・他人のことは言うが、「じゃあ自分は？」と聞かれると黙ってしまう。
  自分を振り返れない子ども
  ・せめて主人公の立場で語れること
  ・ノーマルな道徳で自分を語れるようになってきて、生き生きでも話せるようになる。
  ・自分に合った、自分のクラスの実態に合った授業をしていく。

- 年間計画の作成について
  ・ 朱を入れていく　やったときの反応、子どもの考え方など

- 副読本の購入
  ３年　　４年　　５年　　６年　　（各４０冊）
  全学年 指導書　文渓　学研

- 学級における道徳指導計画の作成
  道徳全体計画の重点（低・中・高）４項目の中から３つ（各学期１つ）
  ６月１６日までに

- その他　　１０月２４日 道徳ブロック研　（新宮小）
  《 校区として願う子ども》
  礼儀・挨拶
  児童会とのタイアップで
  言えば返ってくる安心感　先生方にも協力
  ある程度形から入ることも　学年に応じて（ゲーム的な要素）